

**2020年3月期
第1四半期
決算説明資料**

 川澄化学工業株式会社

2019年8月8日

連結

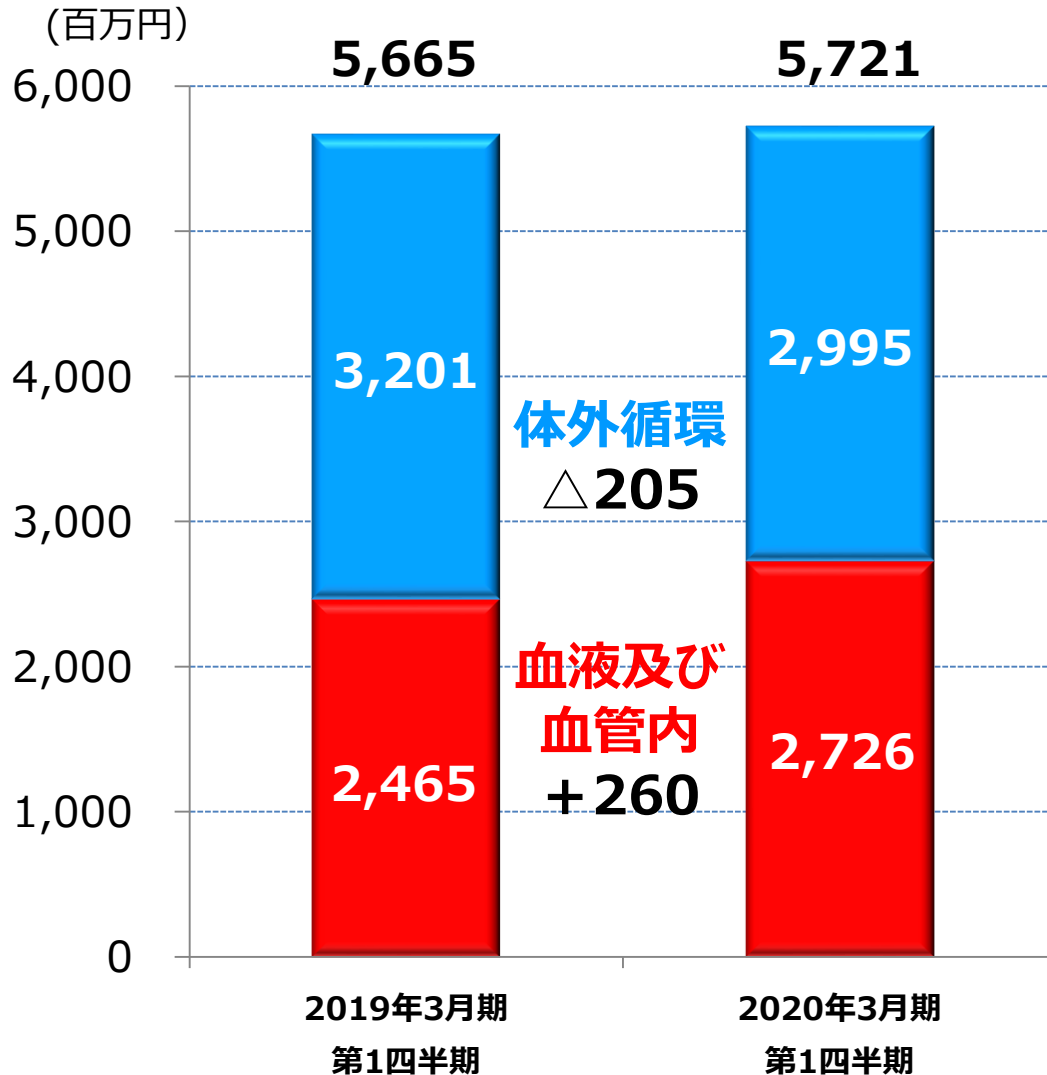
金額：百万円

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	5,665	5,721	+55	1.0%
売上総利益	1,839	1,990	+150	8.2%
営業利益	△30	343	+373	-
経常利益	56	345	+288	507.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	175	+169	-

為替レート	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期
US\$	109.53	109.67
EUR	130.05	123.21
Baht	3.39	3.47

- **売上高** : 撤退品や生理食塩液等が減少した一方、国内外向け血液バッグや血液浄化用フィルター等が増加。
- **売上総利益** : 構造改革効果および原価低減活動等により原価率が改善し、増加。
- **営業利益** : 販売費および一般管理費において構造改革により人件費等が減少し、増加。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益** : 特別損失として構造改革費用を計上したものの、構造改革の効果により増加。

売上高（セグメント別）



【体外循環関連】

【増加】 血液浄化用フィルター（OEM）

【減少】 国内向けダイアライザー 撤退品
透析用血液回路（海外） 撤退品
生理食塩液

撤退品合計： △346百万円

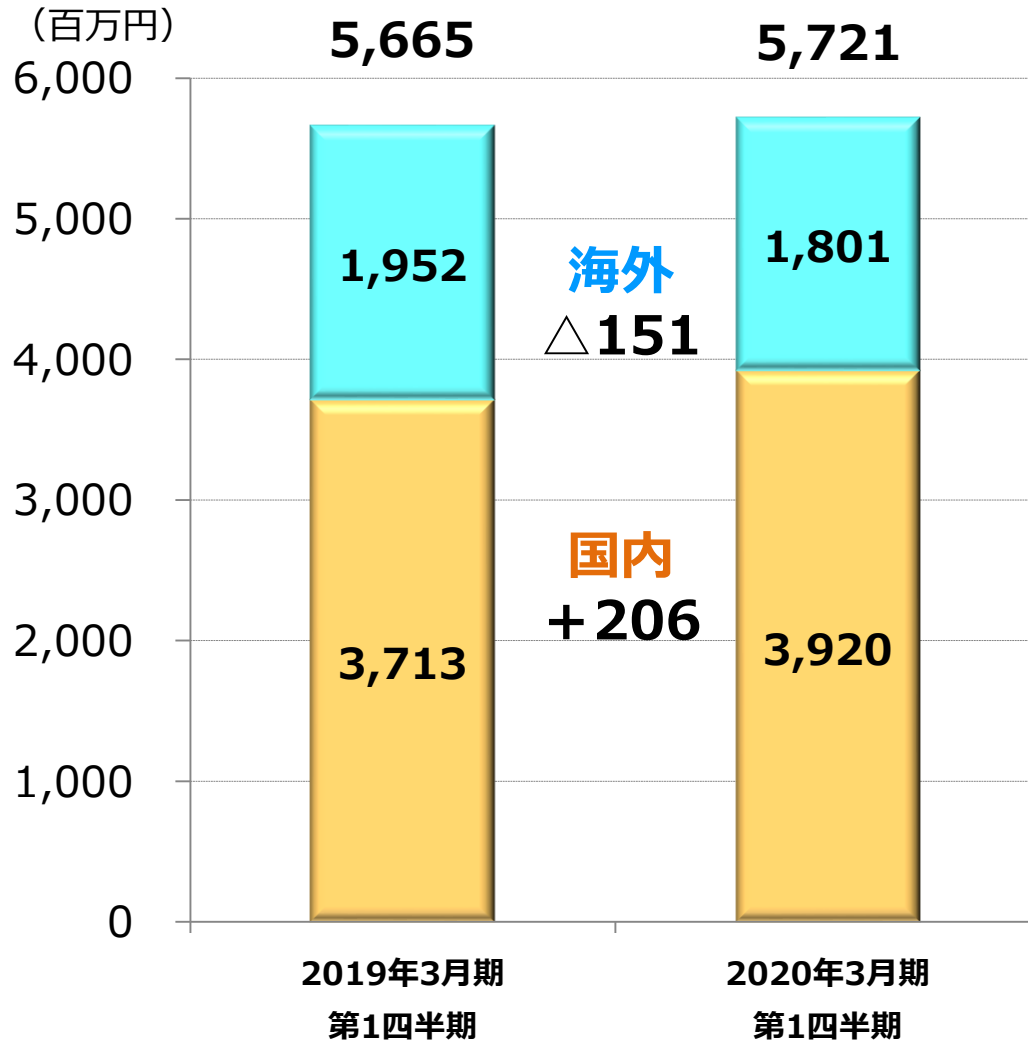
【血液及び血管内関連】

【増加】 血液バッグ（国内・海外）

【減少】 輸液製品（海外OEM） 撤退品

撤退品合計： △61百万円

売上高（国内外）



【海外】

【増加】 血液バッグ

【減少】 透析用血液回路 撤退品
輸液製品 (OEM) 撤退品

撤退品合計： △166百万円

【国内】

【増加】 血液浄化フィルター (OEM)

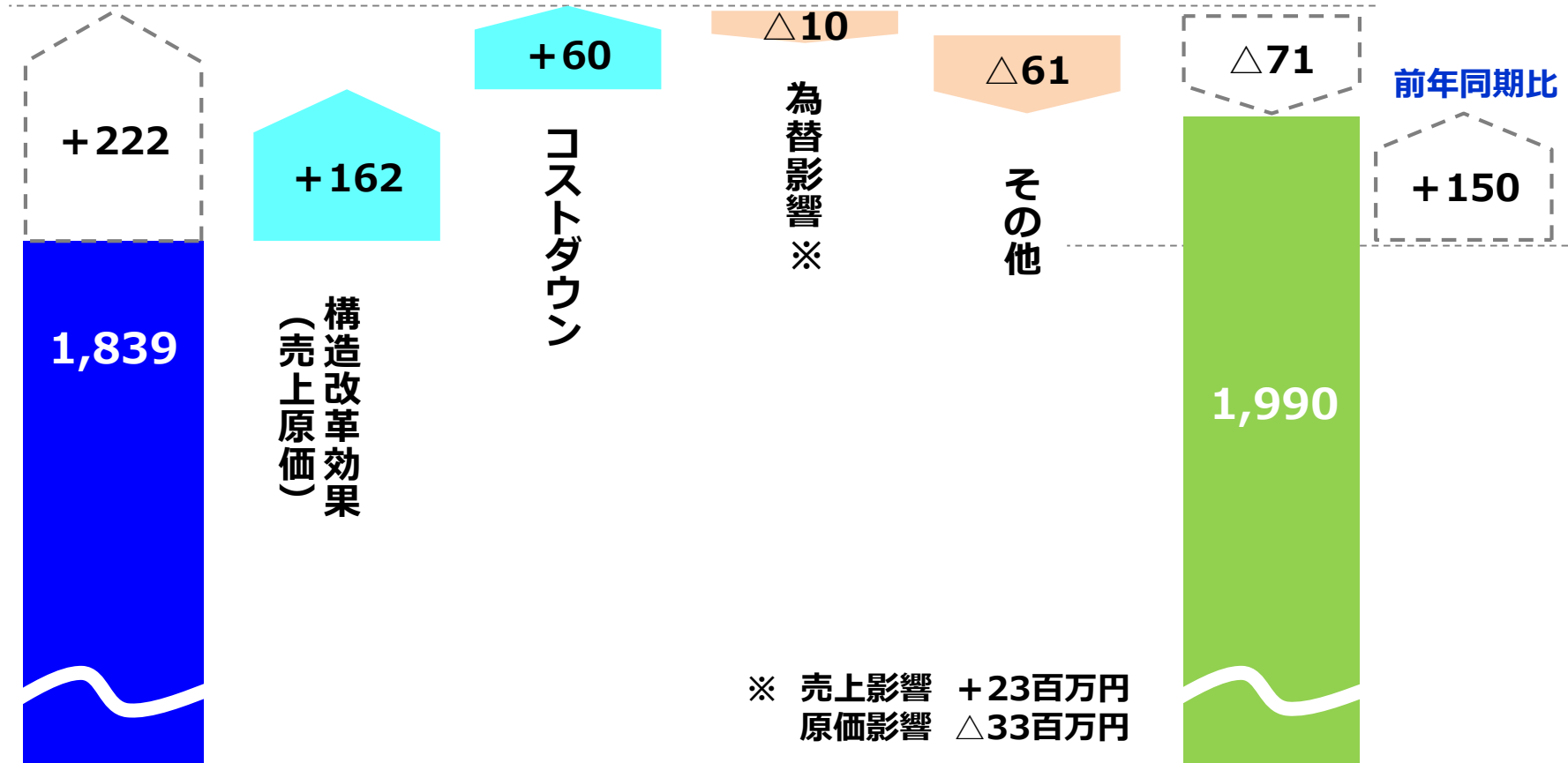
【減少】 国内向けダイアライザー 撤退品
生理食塩液

撤退品合計： △240百万円

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位：百万円)



※ 売上影響 +23百万円
原価影響 △33百万円

2019年3月期
第1四半期

2020年3月期
第1四半期

連結

金額：百万円

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額
人件費	851	655	△197
運送費	210	200	△9
その他	809	791	△18
合計	1,870	1,646	△223
内) 研究開発費	255	238	△17

- 人件費 : 構造改革効果により減少。
- 運送費 : 撤退品や生理食塩液の販売減により減少。
- 研究開発費 : 開発試験研究費等の月ずれのため減少。
- その他 : 人員減による福利厚生費および旅費交通費の減少。

■ 「川澄ジャバラ大腸ステント」製造販売承認を取得

- 6月に製造販売承認を取得
- 9月より限定医療機関向けに販売を開始予定

■ 「腹水濾過濃縮器」製造販売承認を取得

- 4月に製造販売承認を取得
- 販売は提携先に委託し、今秋より発売予定

■ 撤退品の生産および希望退職が完了

- 構造改革で予定していた撤退品の生産が6月末にて完了
- 生産終了にともない、希望退職も完了

The logo for Kawasaki Chemical Industry Co., Ltd., featuring a stylized 'K' inside a circle.

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : H6keieikikaku@kawasumi.jp